

1面に登場していただいた皆さんに、今年の抱負や夢などをお聞きしました。

町田市出身の
マラソンランナー

はなみ
関根 花観さん



今年は、まずはマラソングランドチャンピオンシップ(MGC:東京五輪マラソン代表選考レース)の突破を目指して、確実にトレーニングを積んでピークに合わせたいと思っています。世界のトップレベルの選手たちと戦える実力をつけて、2020年の東京オリンピックに挑みたいです。

今、好きなスポーツを仕事としている私ですが、小さい頃は誰かと競い合うという意識はなく、ダンスやテニスなど、好きなことを何でも楽しんでいました。そのため、中学1年生の時に顧問の先生から陸上を勧められた時は、テニスを続けるのか陸上に進むのかを半年間悩みました。でも、最後は自分で決めてマラソンの道に入りました。そして今、楽しみながら大きな目標に挑戦しています。

▶ **東京オリンピックを目指します!**

町田市の子どもたちにも、興味があることはどんどん挑戦してほしいと思います。何でもやってみて、たくさん経験して、そうしているうちに本当にやりたいことに出会えるはずですよ。そして、何より大切なことは「楽しむ」こと。スポーツも、スポーツではないことも、自分が好きなことを楽しんで下さい。

私も、こうしてのびのびと走っていただけるのは、市民の皆様の理解と応援があるからです。地元に戻ってきた時にはいつも、「がんばって」の声に元気をもらっています。成長した姿を間近で見てもらえるように、東京オリンピックを目指してがんばります!

【関根花観 プロフィール】

町田市出身 日本郵政グループ女子陸上部所属。2016年リオデジャネイロ五輪女子10000m日本代表。2018年3月の名古屋ウイメンズマラソンで3位入賞(日本人1位)を果たし、マラソングランドチャンピオンシップへの出場権を獲得している。

昨年始まった「まちだ〇ごと大作戦18-20」で実施した町田市第5地区の「まちかど子どもギャラリー」では、各学校の学校支援ボランティアコーディネーターが中心となり、周辺の地域の皆様に協力していただくことで、子どもたちと地域のつながり「わ(輪)」を作ることができました。

まちかど子どもギャラリーでは、地域の事業所や店舗、学校、施設を「まちかど美術館」として、子どもたちが自由な発想で表現した絵を展示しました。その絵を見た皆さんからいただく感想や応援の声が、子どもたちにとってはとてもうれしかったようです。子どもたちと地域のつながりが深くなり、その「わ」はもっと大きくなっていくでしょう。

子どもに自由な発想を持たせることは、娘の花観を育てる時に私たち夫婦が意識していたことです。うちでは、

花観が「やりたい」と言ったことは何でもさせました。何に向いていてどんな可能性を持っているのかは、やってみなくては分かりません。とことん娘を信じて愛情を注いできました。そして、彼女が自分でマラソンを選んだ時には、どんなことがあっても応援すると約束しました。花観が大きな目標やプレッシャーにも立ち向かいストイックに練習できるのは、彼女が持つ自己肯定感からです。子どもの力を信じて応援し、声をかけることで、子どもが持つ可能性は最大限に引き出されると思います。

昨年のまちかど子どもギャラリーを、子どもたちと地域で作った「わ」の活動範囲を広げて、町田市全体が大きな「輪」となるように、そして平和の祭典である東京オリンピックの「和」につなげていきたいです。

▶ **「わ」を広げ、つなげていきたい!**

関根花観さんの母で、「まちだ〇ごと大作戦18-20・まちかど子どもギャラリー」の代表者

関根 美咲さん



未来を担う
市内保育園の子どもたち

「アイスクリーム大好き! 大きくなったらアイス屋さんになりたい!」「私はシャチのトレーナーさんになって、水族館のショーに出てみたいの!」「宝石屋さんになりたい!」キラキラしていてきれいだもん」



まあちを利用する
お母さん仲間

遊具コーナーも広いカフェもあるし、子どもセンターまあちを頻りに利用しています。いつ来てもオープンな雰囲気、気楽に来られるのがうれしいですね。今年の目標は働き方改革。仕事を再開するけれど、子どもとの時間は優先的に確保したいです。



串田さん

望月さん

次良丸さん

ボランティアで町田を支える
「まちだサポーターズ」の皆さん

「町田ゆかりの選手の応援イベントに参加したい」「皆さんと一緒にワクワクしたい」「町田に来て良かった、と思ってもらえるようなおもてなしがしたい」「活動を通じて多くの人に会えるのが楽しみだね」「活動を通して一期一会の触れ合いを大切にしたい」「スポーツで人とまちが元気になるといいな」



前列左から小八重さん、柴崎さん、坂井さん、後列左から藤江さん、谷川さん、秋元さん

町田市長
石坂 丈一



2019年の町田市は「世界から注目される輝けるまち」がテーマです。市民の一人ひとりが生活を楽しみ、明るい未来を目指すことで、まち全体が輝き、日本のみならず世界が注目するまちとなるでしょう。そのためにも、「まちだ〇ごと大作戦18-20」の活動規模をより大きくし、一人ひとりが夢を実現させて輝くことができるように、バックアップしていきます。

今年は東京オリンピック・パラリンピックまで1年という年です。町田市も、テストイベントの会場やキャンプ地として、市民と一丸となって盛り上げていきます。町田市出身のアスリートには、声援を糧として

▶ **「One for all, All for one」の精神で夢へトライ!**

がんばってほしいと思っています。

また、町田市は、市民全体が一つになるための、スポーツを通じたコミュニティづくりを目指しています。スポーツイベント等でボランティアとして活躍する「まちだサポーターズ」の皆さんは、町田市の財産です。今年も、たくさんの活躍とリーダーシップを期待しています。そして、子どもたちには、憧れのアスリートたちと出会えるスポーツイベントに参加して、夢を実現させる力をつけてほしいと思っています。一人ひとりが「One for all, All for one」の精神で、目標と夢へトライできる市政を目指します。

